

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	柔道整復実技4	講義・実技	2	60	基礎柔道整復学1.2.3 臨床柔道整復学1.2.3.4 柔道整復実技1.2.3
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 3年生	小澤 健史	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	接骨院での実務経験ならびに介護支援専門員(ケアマネージャー)としての実務経験から、柔道整復師に求められる外傷予防ならびに高齢者に対する機能訓練に関する知識および実技を学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>・競技者(アスリート)に対する専門的知識・技術を身に着ける。また、年代では青壮年だけではなく、高齢者に対する専門的知識・技術(機能訓練指導を含む)を身に着ける。</p> <p>・認定実技審査における、軟部組織損傷の評価法・固定法について試験合格レベルに到達する。また、上記の外傷評価・処置の知識を基に、生活レベルや年代分けした保存療法の実施方法を学ぶ。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>競技者・高齢者に対する外傷予防の技術・知識を身に着けます。その為、各年代に応じた身体状態の変化を知っておくことによって理解が深まります。生理学の教科書の競技者・高齢者の生理学的変化の項をよく復習しておきましょう。</p> <p>柔道整復師として経験した、骨折・脱臼・軟部組織損傷に対する整復法、検査法、固定法を習得する。</p> <p>接骨院などの臨床現場で実践するものを指導するが、基礎は柔整理論、実技教科書の記載内容に準じて展開する。</p>					
教科書・参考書					
公益社団法人全国柔道整復学校協会監修 「柔道整復術と機能訓練指導」「競技者の外傷予防」 「柔道整復学・理論編(改訂第6版)」「柔道整復学・実技編(改訂第2版)」「包帯固定学(改訂第2版)」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業毎、白衣に着替えて教室待機(教室にて伝達事項&出席確認)(忘れた場合は、速やかに担当講師に報告する。) ● メモの用意や授業後に行った内容をまとめておく ● 固定道具等の準備を確実に行う。 ● 頭髪(色、長さ、髪型)、服装(白衣上下、靴下着用)は厳しく指導します。 ● 髭、装飾品等は許可しない。 ● グループにて実技を行い、接遇(思いやる気持ちを持って)を意識します。 <p>◆ 実技室、教室の清掃徹底</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	定期試験			
その他	20	中間試験・小テスト・実技など			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		運動生理学の概要 運動とエネルギー代謝 運動と骨・筋肉		/	小澤 健史
2		運動生理学の概要 運動と呼吸・循環 運動とホルモン 競技者の運動生理学的特徴		/	小澤 健史
3		競技者外傷予防 (概論)		/	小澤 健史
4		競技者外傷予防 (実技) メディカルチェック アライメント測定 タイトネステスト		/	小澤 健史
5		競技者外傷予防 (実技) ストレッチング 筋力トレーニング		/	小澤 健史
6		種目別の外傷予防とその実際 柔道 (肩関節) 肩甲帯・胸郭の可動性向上		/	小澤 健史
7		種目別の外傷予防とその実際 柔道 (肩関節) 肩甲帯・胸郭のトレーニング		/	小澤 健史
8		種目別の外傷予防とその実際 水泳 (体幹) 胸椎・胸郭の可動性向上 腰背部・下肢筋群のストレッチ		/	小澤 健史
9		種目別の外傷予防とその実際 バスケットボール (膝関節) ACL損傷予防トレーニング (安定性向上)		/	小澤 健史
10		種目別の外傷予防とその実際 バスケットボール (膝関節) ACL損傷予防トレーニング (ジャンプ・アジリティー)		/	小澤 健史

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		種目別の外傷予防とその実際 サッカー（足関節） 荷重改善トレーニング 腓骨筋群トレーニング・他		/	小澤 健史
12		種目別の外傷予防とその実際 サッカー（足関節） バランストレーニング （動的・静的）		/	小澤 健史
13		種目別の外傷予防とその実際 成長期の外傷予防 高齢者の外傷予防		/	小澤 健史
14		競技者の外傷予防 まとめ （小テスト）		/	小澤 健史
15		柔道整復師と介護保険 介護保険制度における 柔道整復師の業務と職務		/	小澤 健史
16		高齢者の理解 発達と老化・認知症の理解 自立支援の理解		/	小澤 健史
17		介護予防と生活機能の向上 ロコモティブシンドローム		/	小澤 健史
18		機能訓練（総論） 柔道整復師の行う機能訓練		/	小澤 健史
19		機能訓練（総論） 評価とリスクマネジメント		/	小澤 健史
20		機能訓練（総論） プログラムの作成について		/	小澤 健史

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		機能訓練の実際 予備運動		/	小澤 健史
22		機能訓練の実際 上肢・体幹のストレッチング		/	小澤 健史
23		機能訓練の実際 下肢のストレッチング		/	小澤 健史
24		機能訓練の実際 筋力強化運動 (上肢・体幹)		/	小澤 健史
25		機能訓練の実際 筋力強化運動 (体幹・下肢)		/	小澤 健史
26		機能訓練の実際 器具を用いた運動 (ボール・チューブ・他)		/	小澤 健史
27		機能訓練の実際 器具を用いた運動 (棒体操・バランス訓練・他)		/	小澤 健史
28		機能訓練指導 まとめ (小テスト)		/	小澤 健史
29		試 験		/	小澤 健史
30		総 復 習 競技者の外傷予防 機能訓練		/	小澤 健史